



米国株 MARKET PICK UP



先週の米国株式市場—決算や大統領選の見極めムード強く小動き—

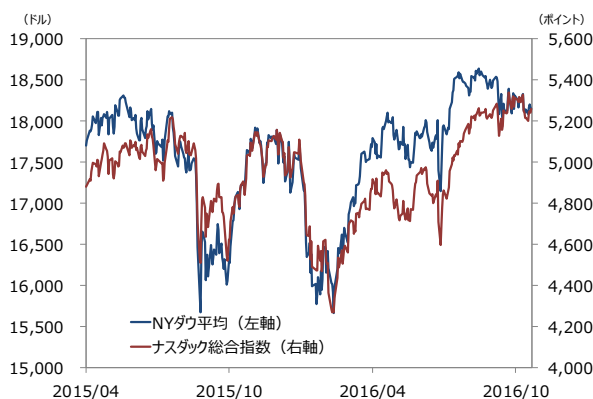
	前週終値	10月17日	10月18日	10月19日	10月20日	10月21日	週間騰落幅	週間騰落率
ダウ平均	18,138.38	18,086.40	18,161.94	18,202.62	18,162.35	18,145.71	+7.33	+0.04%
騰落幅		-51.98	+75.54	+40.68	-40.27	-16.64		
S&P500	2,132.98	2,126.50	2,139.60	2,144.29	2,141.34	2,141.16	+8.18	+0.38%
騰落幅		-6.48	+13.10	+4.69	-2.95	-0.18		
ナスダック総合指数	5,214.16	5,199.82	5,243.84	5,246.41	5,241.83	5,257.40	+43.24	+0.83%
騰落幅		-14.34	+44.01	+2.58	-4.58	+15.57		

＜先週の概況＞

先週の米国市場でダウ平均は週間で7ドル高と小幅に反発しました。決算や大統領選を見極めたいとのムードが強く、ダウ平均は5営業日も2桁の変動と大きな方向感はありませんでした。

前週に大きく下げていたハイテク株比率の高いナスダック総合指数は週間で0.8%高とこちらも反発しています。

NYダウ平均とナスダック総合指数の推移



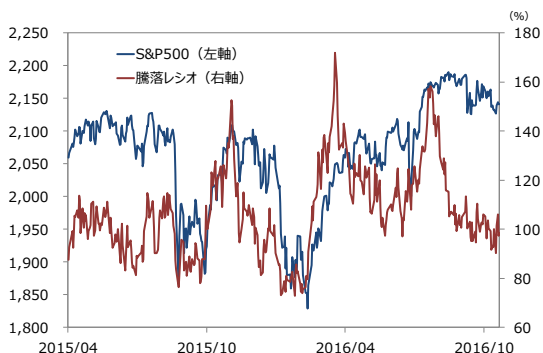
(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

米国株式市場バリュエーション

指数	予想PER (倍)	PBR (倍)	予想配当利回り
ダウ平均	16.7	3.1	2.7%
S&P500	18.1	2.8	2.2%
ナスダック総合指数	22.1	3.6	1.2%

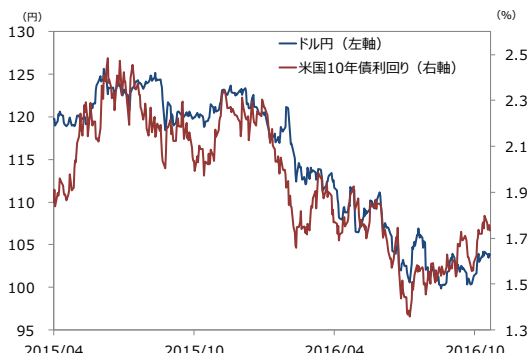
(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成 (2016年10月24日時点)

S&P500と騰落レシオの推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

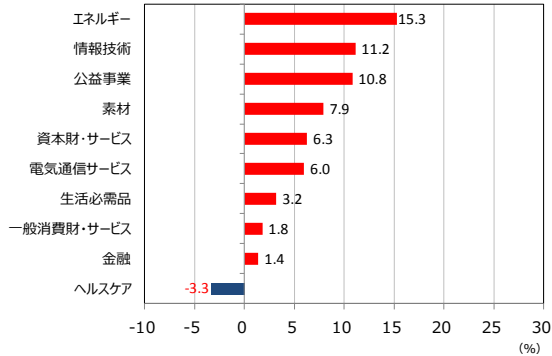
ドル円と米国長期金利の推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

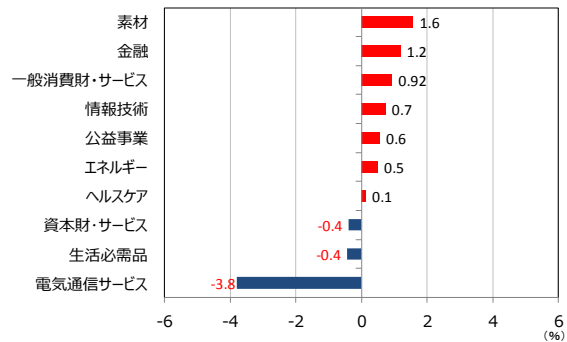
業種別リターン

S&P500 業種別年初来リターン



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

S&P500 業種別週間リターン



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

ダウ平均採用銘柄 週間騰落率ランキング

値上がり率ランキング (10/17-10/21)

ティッカー	銘柄名	週間騰落率 (%)
AXP	アメリカン・エクスプレス	12.0
UNH	ユニテッド・ヘルス・グループ	8.5
MSFT	マイクロソフト	3.9
GS	ゴールドマン・サックス・グループ	2.4
DIS	ウォルト・ディズニー	1.9
BA	ボーイング	1.6
JPM	JPMorgan・チェース・アンド・コパニー	1.4
KO	コカ・コーラ	1.1
DD	イー・アイ・デュポン・ドゥ・ケムール	1.0
GE	ゼネラル・エレクトリック	0.3

(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

値下がり率ランキング (10/17-10/21)

ティッカー	銘柄名	週間騰落率 (%)
INTC	インテル	-6.1
TRV	トラベラーズ・カンパニー	-5.8
PG	プロクター・アンド・ギャンブル	-4.6
VZ	ベライゾン・コミュニケーションズ	-4.1
JNJ	ジョンソン・エンド・ジョンソン	-3.5
IBM	IBM	-3.1
CAT	キャタピラー	-1.5
MRK	メルク	-1.5
UTX	ユニテッド・テクノロジーズ	-1.5
PFE	ファイザー	-1.5

(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

<上昇>

アメリカン・エクスプレス (AXP) は週間で 12% の大幅高となりました。19 日の取引終了後に行った決算発表で売上・利益ともに市場予想を上回ったことで大幅高となりました。同様に利益が市場予想を上回ったユニテッド・ヘルス・グループ (UNH) も 8.5% の大幅高となっています。

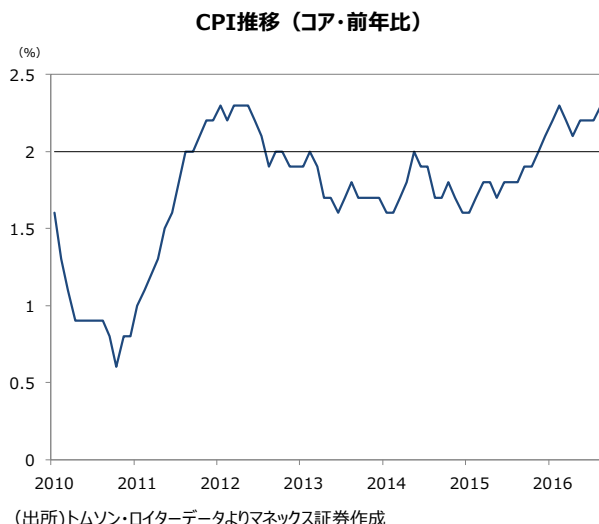
<下落>

決算が低調だったインテル (INTC) は 6% 超下落しました。トラベラーズ・カンパニー (TRV) やプロクター・アンド・ギャンブル (PG)、ベライゾン・コミュニケーションズ (VZ) など大きく下げています。

先週発表された主な経済指標

消費者物価指数（CPI コア指数） 前年同月比 9月 +2.2% 市場予想 +2.3% 前月 +2.3%

18日に発表された消費者物価指数（CPI コア指数）は、前年同月比2.2%の上昇と市場予想を下回って前月から伸びが鈍化しました。



今後発表される主な経済指標

7-9月期 GDP 速報値（前期比年率換算） 市場予想 +2.5% 4-6月期 +1.4%

28日に7-9月のGDP速報値が発表されます。市場予想では堅調な個人消費などを背景に、前期比年率換算2.5%の成長と4-6月期の1.4%成長から伸びが加速するとみられています。2%台の伸びとなれば今年の7-9月期以来1年ぶりの高い伸びとなります。堅調な数値となれば、早期の利上げ実施を後押しすることになりそうで、ドル高材料となるかもしれません。



マーケットビューー引き続き企業決算が材料に 25日にはアップルが発表ー

先週の米国市場は決算発表や米大統領選を見極めたいとのムードが強く、ダウ平均は連日2桁の値動きにとどまるなど小幅な値動きが続きました。

今週も引き続き決算発表が多く、それを見極める展開が続きそうです。25日には時価総額が最も大きいアップル(AAPL)の決算発表が予定されています。新型iPhone販売動向の初動などが明らかになるとみられ、アップルの株価動向は市場全体のセンチメントにも大きな影響があるとみられることから注目されます。

フィナンシャル・インテリジェンス部 益嶋 裕

当社は、本書の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想及び判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。当社は本書の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。本書の内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。内容に関するご質問・ご照会等にはお応え致しかねますので、あらかじめご容赦ください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号
 加入協会:日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会